

# 令和 2 年度事業報告

## I. 事業の状況

### 1. 奨学事業

#### (1) 奨学生の選考、決定

##### ① 令和 2 年度新規採択奨学生及び継続奨学生

10 大学から応募のあった奨学生候補者 16 名について、令和 2 年 4 月に選考委員会において書類審査を行い、一般奨学生計 16 名を選考した。また、学業状況報告書、成績証明書等の審査により、106 名の継続を認めた。

##### ② 令和 2 年度後期採択奨学生

令和 2 年 9 月末で奨学金を終了した者 5 名の補充につき、令和 2 年 11 月 10 日開催の選考委員会において応募者の書類審査を行い、一般奨学生 1 名を選考した。

また、令和 2 年 12 月に選考委員会において書類審査を行い、中国の東北育才学校、東北育才外国語学校から推薦のあった渡日時奨学生 10 名を選考した。

③ 理事長は、選考委員会により選考され、又は継続が認められた上記①～②の候補者を理事会の決議に基づき、令和 2 年度の新規採用の奨学生又は継続奨学生に決定し、本人及び各推薦大学に通知した。

#### (2) 令和 2 年度奨学生

令和 2 年度の奨学生の内訳は、下表のとおり。

種別	2 年 4 月 採択者	継続者	2 年後期 採択者	合計	年度途中 終了者
一般奨学生	14	103	1	110	5
酒井メモリアル・スカ ラシップ奨学生	2	9	0	11	0
渡日時奨学生	0	2	10	12	0
計	16	106	11	133	5

(注 1) 一般奨学生の継続者には、渡日時奨学生からの振替者、兵役からの復学者を含む。

(注 2) 酒井メモリアル・スカラシップ奨学生には、一般奨学生からの振替者を含む。

(注 3) 年度途中に 5 名が終了したため、年度末の奨学生数は 128 名であった。

### (3) 奨学金の支給

#### ① 奨学金贈呈式

令和2年6月13日に予定した新規採択の奨学生への奨学金贈呈式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

#### ② 奨学金の支給

下表の支給額及び支給期間に基づき、奨学生に対し、毎月銀行振込みにより支給した。

種別	支給額	支給期間
一般奨学金	学部生 18万円/月額 大学院生 20万円/月額	原則として1年間。 ただし、特に成績優秀な者及び本財団の交流事業を理解する者については、所属する学部又は研究科の標準年限まで継続可
酒井メモリアル・スカラシップ (SAKAI MS)	大学院生 20万円/月額	
渡日時奨学金	渡日一時金として 最高100万円 滞在費として15万円/月額	受入校入学時から卒業までの間

### (4) 学業に関する報告及び生活状況報告

令和3年1月19日、奨学生に学業状況報告及び生活状況報告の提出を求めた。

### (5) 令和3年度奨学事業関係

令和3年3月15日付けで、令和3年度奨学生の候補者の推薦を16大学長あてに依頼した。(締切日：令和3年4月9日)

## 2. 研究助成事業

アジア諸国からの留学終了後我が国の大学・研究機関等の研究職に留まり研究を継続している者に対する研究助成事業（「アジア留学終了者研究助成事業」と略称）の第7回目として、理事長は、令和2年11月10日開催の選考委員会による選考結果及び理事会の決議に基づき、27件の応募の中から18件の研究主題に対し研究助成金を支給することを決定し、各応募者に通知した。採択者一覧は別紙のとおり。

また、令和2年12月6日研究助成金受給者への研究助成金贈呈式を行った。

## 3. 交流活動事業等

### (1) 奨学生／研究助成金受給者交流会

奨学生／研究助成金受給者交流会を、財団役員、評議員、選考委員、評議員選定

委員の出席を得て次のとおり実施した。

- 第1回 令和2年6月13日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- 第2回 第1班 令和2年11月1日～3日  
2泊3日の青森研修旅行
- 第2班 令和2年11月13日～15日  
2泊3日の伊勢志摩研修旅行
- 第3回 令和2年12月6日（於：ザ・キャピトルホテル東急）
- 第4回 令和3年3月27日（於：ザ・キャピトルホテル東急）

## （2）芸術文化交流事業

本年度より、芸術文化を通じた国際親善・交流を図るため、歌舞伎、文楽、オペラ、バレエなど我が国の伝統芸能、現代舞台芸術に親しみを持つ機会を提供することとした。コロナ禍で公演や展覧会の中止が相次ぐ中、東京フィルハーモニー交響楽団の定期会員席を確保し、奨学生に鑑賞機会を提供した。

また、日本の文化・自然遺産の理解促進を図るため、公益財団法人日本ナショナルトラストに団体会員として加入するとともに、相互協力に関する覚書を取り交わした。

## （3）「交流のひろば」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「交流のひろば」第26号を令和3年3月27日に刊行した。

## 4. 顕彰事業

### （1）顕彰事業の新設

財団設立25周年を迎えること及び近年における安定的な財政状況に鑑み、情報・電気・電子工学に関する諸分野において、独創的な研究を行い顕著な業績を挙げ、今後も研究の展開が期待される国内の研究者に対する顕彰事業（「ヒロセ賞」、賞金3,000万円）を立ち上げ、令和2年6月17日に内閣府の認定を受けた。

### （2）第1回ヒロセ賞受賞者の決定

第1回ヒロセ賞候補者の推薦を対象機関に依頼し、令和2年10月22日～12月21日の応募期間中に15件の推薦があった。令和3年2月4日のヒロセ賞選考委員会において、東京工業大学名誉教授赤木泰文氏が選考され、理事会の決議を経て受賞者を決定した。

### （3）第1回ヒロセ賞贈呈式

令和3年3月27日にザ・キャピトルホテル東急にて、第1回ヒロセ賞贈呈式を、財団役員、評議員、選考委員、評議員選定委員、奨学生の出席を得て実施した。

## 5. ヒロセ財団交流会館（仮称）の設置準備状況

2030年迄を目途に、少しずつ具体化を図るため、準備委員の一級建築士による基本計画図を作成した。又候補地については、大手不動産会社の協力を得て、目下、六本木、麻布、三田エリアを中心に選定中である。

## Ⅱ. 処務の概要

### 1. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年4月3日 (決議の省略)	1. ヒロセ賞選考委員の選任について 2. 「ヒロセ賞選考委員会運営規則」の制定について 3. 「選考委員会の委員の選考料等並びに費用に関する規程」の制定について 4. 「交流会館設立準備資金取扱規程」の改正について	全会一致で承認・可決
令和2年4月20日 (決議の省略)	1. 令和2年度ヒロセ国際奨学財団奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和2年7月15日 (第1回通常理事会) (決議の省略)	1. 平成31(令和元)年度事業報告及び決算について 2. 令和2年度定時評議員会の開催日時、場所及び議題の変更について	全会一致で承認・可決
令和2年11月11日 (決議の省略)	1. 令和2年度(後期)ヒロセ財団奨学生の決定について 2. 令和2年度研究助成の決定について	全会一致で承認・可決
令和2年12月21日 (決議の省略)	1. 交流会館(仮称)の設置について	全会一致で承認・可決
令和3年1月5日 (決議の省略)	1. 令和2年度渡日時奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年2月10日 (決議の省略)	1. 第1回ヒロセ賞受賞者の決定について 2. 令和2年度臨時評議員会の開催及び招集について	全会一致で承認・可決
令和3年3月27日 (第2回通常理事会)	1. 令和3年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 2. 株主権の議決権行使について 3. 令和3年度定時評議員会の開催日時、場所及び議題について 4. 職務執行状況の報告について	全会一致で承認・可決

## (2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年7月22日 (定時評議員会) (決議の省略)	1. 平成31(令和元)年度事業報告 2. 平成31(令和元)年度決算の承認について 3. 補欠理事の選任について 4. 評議員の推薦について	全会一致で承認・可決
令和3年3月27日 (臨時評議員会)	1. 令和3年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	全会一致で承認・可決

## (3) 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年4月10日	1. 令和2年度奨学生の選考(再申請者、延長者のみ)	再申請者16名、延長者7名を選考
令和2年11月10日	1. 第7回(令和2年度)研究助成事業の選考 2. 令和2年度(後期)奨学生の選考(再申請者、延長者のみ)	18件を選考 再申請者1名、延長者2名を選考
令和2年12月28日	1. 令和2年度渡日時奨学生の選考	10名を選考

## (4) ヒロセ賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年10月6日	1. ヒロセ賞選考委員会準備会	実施要項等協議
令和3年2月4日	1. 第1回ヒロセ賞選考委員会	1名を選考

なお、令和2年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。